

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	家庭ごみ手数料化事業			
■評価事業コード	030300 - 085	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	02 ごみの発生抑制		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	廃棄物処理法、資源循環推進法、			
■関連計画の名称	北上市ごみ処理基本計画、北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	ごみ減量とリサイクルの推進、処理経費の節減及び市民意識の高揚を目的とする。処理経費を含む指定袋及びシールでのごみ出しに変更。袋は40.30.20.10Lの4種類、100円のシール。資源常設ステーションの5箇所設置。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	家庭ごみ手数料化事業	市民	予定数量可燃10L 34,000部20L 67,000部30L 85,000部40L 110,000部 不燃10L 4,000部20L 5,000部30L 5,000部40L 8,000部 シール券 11,000枚	取扱数量可燃10L:32,550部、20L:61,830部30L:79,740部、40L:105,930部 不燃10L:3,780部、20L:4,470部、30L:5,130部40L:7,440部 シール券 126,000枚

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	35,775	37,844	37,471	37,254	
人件費	2,028	2,596	2,840	5,375	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	37,803	40,440	40,311	42,629	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	可燃ごみ収集量	11,715t	11,827t	11,814t	11,865t	
02	不燃ごみ収集量	997t	823t	828t	785t	
03	リサイクル率	0.235	0.227	0.214	0.203	(資源ごみ+集団資源+磁性物+アルミ類)/(ごみ総量+集団資源+泥灰)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

26年度の取扱数量は、可燃全体で280,050部(前年比-9.7%)。不燃全体では20,820部(前年比-12.9%)。シール券は126,000枚(前年比+1.2%)

問題点・課題等

26年9月に、契約期間満了によりごみ袋等の製造業者の変更があったことに伴い、市民からごみ袋の仕様の変化(強度、臭気等)について苦情を受けることがあった。なお、指摘があった点については、業者に対して改善要求し対応済み。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

依然としてごみ減量効果はある。